

氏名： 平岡 公一 (HIRAOKA Koichi)  
所属： 人間文化創成科学研究科人間科学系  
職名： 教授  
学位： 社会学修士 (1980 東京大学)  
専門分野： 比較社会政策、社会福祉政策論、福祉社会学  
E-mail： hiraoka.koichi@ocha.ac.jp

#### ◆研究キーワード / Keywords

社会政策 / 社会福祉 / 社会保障 / 政策評価 / 社会学  
social policy / social welfare and social services / social security / policy evaluation / sociology

#### ◆主要業績

総数 (6) 件

- ・藤崎宏子・平岡公一・三輪建二編著『お茶の水女子大学 21 世紀 COE プログラム 誕生から死までの人間発達科学第 5 巻 ミドル期の危機と発達—人生の最終章までのウェルビーイング』金子書房、284 頁、2008 年 5 月.
- ・「介護保険の政策評価の動向」『社会政策研究』第 8 号、155～165 頁、2008 年 4 月.
- ・「ケア市場化の可能性と限界」上野千鶴子・大熊由紀子・大沢真理・神野直彦・副田義也『ケア その思想と実践 5・ケアを支えるしくみ』岩波書店、125～142 頁、2008 年 6 月.
- ・「福祉政策・運営論の動向と展望」日本社会福祉学会編『福祉政策理論の検証と展望』中央法規、292～316 頁、2008 年 10 月.
- ・「介護ガバナンスと福祉レジーム—超高齢社会に向けて」直井道子・中野いく子・和気純子編『高齢者福祉の世界』有斐閣、235～252 頁、2008 年 12 月.

#### ◆研究内容 / Research Pursuits

- 1) 科研費プロジェクト：
    - a) 「多面的福祉ガバナンスのもとでの福祉サービスの質の確保策に関する総合的研究」
    - b) 「効果的福祉実践モデル構築プログラム評価アプローチ研究」
  - 2) 特別教育研究経費による事業の一環としておこなっている研究：
    - a) 社会サービスにおける政策評価に関する研究—研究動向の分析とセミナーの開催
    - b) 社会保障制度の合意形成に関する研究—社会保障に関する意識の全国調査のデータ分析
  - 3) グローバル COE プログラムによる共同研究—教育・社会的格差領域を担当。
  - 4) その他一次のテーマに関する依頼論文を執筆：
    - a) ケア・サービスの市場化
    - b) 社会福祉学における政策・運営論の動向と展望
    - c) 高齢社会における介護ガバナンスと福祉レジーム
- 1) Research project supported by The Grants-in-Aid for Scientific Research
    - a) A Study on the quality assurance in social welfare services under the pluralistic framework for welfare governance.
    - b) Program Evaluation for the Development of Effective Social Care Models
  - 2) Research project conducted as part of the Communication System Development Program
    - a) Policy Evaluation in Human Service Programs.
    - b) Analysis of the Attitudes to Social Security.
  - 3) Research project conducted as part of the Global COE Program
  - 4) Miscellaneous: Book chapters on the marketization of care services; trends and prospects of social policy and administration studies in Japan; welfare regime and the governance of long-term care in the aged society.

## ◆教育内容 / Educational Pursuits

### <学部>

比較社会政策論：社会政策の比較研究の枠組みと主要分野の政策動向を講義。

社会保障論演習Ⅰ：福祉ミックス論

社会保障論演習Ⅱ：平等論（社会政策の平等化機能、ライフコースを通じた不平等の再生産）

社会学研究指導Ⅰ・Ⅱ、卒業論文：卒業論文指導

### <大学院前期課程>

社会福祉論：社会学、社会福祉学、その他の諸分野の社会政策・社会福祉研究の動向の把握。

社会政策論：社会政策の新しい研究の潮流を代表する英文文献の検討

政策科学：ヒューマン・サービスに関する政策科学的研究の枠組みと手法を講義。

### <大学院後期課程>

演習Ⅰ、演習Ⅱ：個別指導、研究発表と討議

このほか、特別教育研究経費による事業「コミュニケーション・システムの開発によるリスク社会への対応」(4カ年計画)のリーダーをつとめ、新たな教育プログラムの開発に取り組んだ。また、この事業の一環として、国内でほとんど類例のないヒューマンサービスの政策評価に関する副専攻(大学院博士前期)をスタートさせた。

### <Undergraduate courses>

Comparative Social Policy I: Theoretical framework and analysis of policy changes

Social Security Seminar I: Welfare mix

Social Security Seminar II: Social policy and equality

### <MA courses>

Social Welfare : Development of social policy studies in sociology and related academic disciplines

Social Policy : Literature review on new frontiers in social policy studies

Policy Science: Outline of policy-oriented studies on human services

### <Ph.D. Courses>

Seminar I, Seminar II: Supervision of research and discussion.

## ◆研究計画

1. 介護・福祉分野のサービス・プログラムの開発と評価に関する研究
2. 介護・福祉分野の質の確保策についての総合的な研究
3. 生活リスクの変容に対応して社会保障改革のあり方と、改革に関わる合意形成の方法の研究
4. 社会保障・社会福祉に関する諸学問分野の研究史の検討
5. 社会保障・社会福祉の制度設計が、格差構造の再生産に及ぼす影響の研究

可能な共同研究のテーマとしては次のことが考えられます。

1. 介護サービス分野の効果的なプログラムの開発と評価方法についての研究（自治体、福祉・医療施設等との共同研究）
2. 合意形成可能な年金、医療改革についての世論調査の実施と解析（報道機関、調査機関等との共同研究）

## ◆メッセージ

他の国立大学にはあまりみられない本学の特色の一つとして、①家族に関する専門的研究を行っている社会学・心理学・経済学・法学等の教員、②社会保障・社会福祉・雇用労働等を専門に研究している教員が多く、この分野の研究・教育が充実していることをあげることができます。特に、社会保障・社会福祉等の分野の研究者、高度な専門性を持った職業人の養成に対する社会的な期待は高く、この分野の大学院レベルでの教育の充実をさらに図っていきたいと考えています。これらの分野の研究者や専門的職業人を目指す方の入学を期待しています